

経理の仕事は冬の終わりから初夏にかけてが忙しい。まず2、3月は年会費と全国大会参加費等の納入時期が重なって入金が集まる。途中から年度末の決算処理が同時進行されて、やっと決算が終わったと思うと新年度の準備をしないといけない。準備といってももうすでに新年度は1カ月以上も経過している。追いかけるように会計システムを新年度の体勢に整える。もちろんその間も入金の消し込み処理は行って、遅れを取り戻したころにはすっかり夏になっている。あっという間に1年のうちの半分が終わってしまう。時間に追われていると月日が経つのはすごく早いと感じるもの。

こうして1月からの月日を振り返ってみると、あれっ、今年の目標はなんだったっけ?などと今頃になって頭になか

ったことに気づく。年が明けるときには毎年気分が新たまって目標などをいくつか立てるのだが、大抵次の年に持ち越しするのもここ数年恒例になっている。特に自分の趣味のことなんかは、仕事や家事に比べると優先順位が低い。手帳の1月に書き込んだページを見ながら、せめて1つだけでも今年のうちにはやっつけてしまおう、今からでも遅いということはない、と思ってからもまた数日経っている。カレンダーは今年もあとわずかだと如実に表している。いっそのこと「来年こそは」と切り替えてしまえば、1年は長いと思えるから不思議だ。

(細田直子/管理部門)

早いもので事務局に勤務して6年が過ぎました。私は入社してからずっと会誌の編集に携わっています。会誌の原稿は、まず著者の方々からいただき、エディタ(編集委員)や編集長の閲読を経て事務局に届きます。そこからレイアウト、テキストの流し込み、図の加工、校正を行います。その校正の段階で、用語統一(たとえば、「デジタル」は「ディジタル」に修正したり(固有名詞は除く))を行うのですが、そういった文字の修正作業を何年もやっていると、なんとなく普通にテレビや雑誌を見ても、電車の中吊り広告を見ても、知らずに頭の中で赤字を入れていてアラッと思うことがあります。おそらく校正を仕事とされる方には当然の職業病なのでしょう。職業病というには私はまだまだ職人になりきれていないのですが…

著者が愛情をもって執筆された、そして編集委員の方が忙しい合間をぬって企画や閲読をしてくださっている原稿をできるだけ読みやすいように間違いのないように会員の皆様にお届けしたいと思っているのですが、日々感じることはレイアウトも

校正も自分自身まだまだ勉強不足で至らないところが多いということ。注意力散漫な私には校正で失敗しないよういかに集中するかというのがまず課題です。

以前にあるエディタの方が「原稿を読むときはまず声に出して読みます」と仰っていて、なるほどそれは素晴らしい方法だなあと思ったのですが、職場で実際に声を出して読むのはさすがに躊躇してしまい、その代わり極力頭の中で声を出す(音にする)ことにしています。文字をさらうのではなく読むという作業は簡単ようでなかなか難しいです。読めない漢字にぶつかっては辞書をひき、分からない用語を見つけてはWebで検索し…けれどそれによって新しい知識を得るのは楽しいことでもあります。本当に、日々勉強だなあという思いです。

そういえば最近忙しさを理由にして読書の量がめっきり減ってしまいました。秋の夜長ということで、まずは一度読み出したのに途中でやめてしまった本たちに再び挑戦してみることになります。

(綿谷亜樹/会誌編集部門)

ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集中!!

今一番新しい研究分野は何か?

IT時代をリードしたい!

そうだ、情報処理学会に入ろう!



申込/照会先 社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、7月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「情報セキュリティ研究開発の動向」については、以下のような感想・ご意見をいただきました。

■インターネットが普及し、便利になりつつある現代。便利になる一方、一般ユーザはセキュリティに対する関心を持ち、常に疑いの念を持ってインターネットを利用していかなくてはならないと考えます。セキュリティ分野の研究の大変さを本特集をもって感じました。(吉田慶章)

■セキュリティ技術知識は、情報系の業務に携わる者として必要なものであるものの、これまであまり接する機会がなかった。今回の特集でさまざまな知識を得ることができた。特に、徳田英幸氏の「情報セキュリティの研究開発の動向」はセキュリティ技術の歴史から学ぶことができ、興味を持って読むことができた。(匿名希望)

■いわゆる成りすましを防ぐために認証という作業が必要ですが、このままではIDとパスワードにがんじがらめになりそうです。しかも、IDとパスワードによる認識もパスワード忘れ、パスワードハッキングなどにより万能ではありません。IDとパスワードに依存しない、新しい認証方法についての特集を期待します。(匿名希望)

■昨今注目を集めているテーマであり、大変興味を持って読むことができました。ただ、情報学のみならず、社会科学からの視点があってもよかったと思いました。(水野光朗)

■特集にて、情報セキュリティの研究開発の動向について多面的に紹介されていますが、情報セキュリティ分野の研究者でないと感じました。具体的には、専門用語が説明なしに多用されている印象です。多様な分野の読者が興味を持てるような何らかの工夫が必要と思われました。導入レベルの解説もあると良いかもしれません。(匿名希望)

■非常に複雑で神経質なものになっている。門外漢としては単純・明快がセキュリティの第一歩と考えるが、その逆になっているようだ。このままだと落ち着くことは難しいと感じる。一歩立ち止まって情報セキュリティのあるべき道を考えるべきではないか。素人でも分かるようであれば国民の信頼感は生まれてこない。(匿名希望)

■セキュリティホールを作り込まない技術は、BUGを作り込まない技術のサブセットと思われる部分もあり、興味深く読みました。もっと一般的なBUGを作り込まない技術に関する記事を読みたい

です。

(匿名希望)

■情報セキュリティの研究動向を網羅的にまとめた特集を興味深く読んだ。商業誌ではできない企画である。ただ学会誌とはいえセキュリティの門外漢もいるはず。用語の使い方など読み手の知識レベルに配慮が欲しい。もう一歩、読みやすくすれば、読者が広がるのではないか。図についても分量の制約は理解できるが、704ページの図などは読めるように工夫してほしい。(匿名希望)

■科学技術振興調整費による各研究機関の取り組みについての特集を興味深く読みました。報告書では難しそうですが、このくらいのボリュームなら読みやすいです。研究結果を得て、横の連携を組み替え研究を進めていく様子がよく分かりました。(匿名希望)

■特集テーマは広範囲な技術を含むのに、暗号技術やウイルス対策等が欠けており、不十分ではないだろうか。(匿名希望)

■特集の先頭の記事は、全体をざっと見渡せるようにINDEX的な役割を果たしてほしい。そのうえで、2番目以降の論文のポジションが先頭記事のどこになるかを示したような図版があると分かりやすい。(匿名希望)

■早期警戒、被害の局所化、逆探知のためのIPトレースバック技術などの情報セキュリティの脅威への具体的な取り組みが非常に興味深い。こうした脅威に対する防衛戦略というものが成り立つのだろうか。記事中で触れられた技術は戦略守勢の色彩が強い、では戦略攻勢のための技術はどんなものになるだろうか。想像を喚起されて大変面白い。(匿名希望)

解説「モバイル端末のためのユーザインタラクション技術(後編)」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■興味深く拝読した。コンピュータ利用技術は英文タイプライタ文化を前提として成り立ってきた。キーボードも、英文タイプライタのQWERTYキーボードそのものである。本稿では、携帯電話型の入力方式を紹介している。この方式が普及すれば、日本におけるコンピュータ利用人口はさらに増加すると考える。日本人にとっての英文タイプという障害が解消すると思うからである。

(飯倉道雄)

報告「平成18年度論文賞の受賞論文紹介」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■紹介記事は、アブストラクトになっておらず、掲載する意義が明らかではなかったように感じた。(水野光朗)

■論文賞の受賞論文紹介は大変良い企画ですね。受賞された方にとっても論文を知ってもらう良い機会になりますし、これから論文を書こうとされている研究者には目標や励みになります。

(桶屋勝幸)

■論文賞の受賞論文紹介は、単なる受賞理由の紹介ではなく、著者自身のその研究にかけた思いが伝わるよい企画と感じました。多くの論文が出版され自分の専門分野外の論文はなかなか読む機会が少ない中、分野を問わずさまざまな優れた研究成果の一端を知ることができてよかったです。(古崎晃司)

■論文賞受賞論文紹介では「まわりみちの威力」が特に目を引い

た。自分も昔、ポインタ解析の研究で苦心したので、著者の一言「至難の業」を実感しているだけに受賞論文のすごさが率直に理解できた。(匿名希望)

■受賞論文の受賞者ご自身での紹介は、論文の内容とともに受賞者の個性がよく出ているようで、内容もさることながら考え方、アプローチなど大変興味深く読みました。(匿名希望)

報告「第17回世界コンピュータ将棋選手権報告」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■「おふいすらん」の湖東事務局長の記事は大会の裏事情もよく分かり大変興味深く読ませていただきました。(匿名希望)

■チェスではIBM Deep Blueが当時のチャンピオンに勝利を収めたことはよく知られていますが、将棋の世界もこんな風に進んでいるとは知りませんでした。将棋はまったくの素人ですが、取った駒を再使用するのとは大変かなと思っておりました。各人のプログラムの特徴が出ており、特に終盤戦のぎりぎりのところでパニックタイム機能を実装しているのは発想の転換という気がしました。また、今回の選手権により、コンピュータと人それぞれの長所と短所が分かり興味深いと思いました。(匿名希望)

連載「これからの情報処理学会『ディペンダブル情報社会へ』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■大変興味深く読みました。近年のディペンダビリティの定義にはとても納得しましたし、俯瞰情報学の提案も面白いと思いました。システム構築に携わっているので特に情報ディペンダビリティ・フォーラムにぜひ参加したいと思いました。(匿名希望)

コラム「標準化よもやま話『研究開発と標準化』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■学会改革・標準化話に関して：日本は人に金を出さなくなった

国である。人間を育てる教育機関は人が財産であるはずだが、人件費の比率が高いのだと言い、人減らしに躍起になっている。教育機関だけでなく、学会、標準化機構でも同様だろう。人にもっとお金を出す国にならないのか。(匿名希望)

トピックス「中学生が学会にやってきた」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■とてもほほえましく読みました。将来、ITを担う方々にいかに興味を持っていただくかは国内、海外を問わず大変重要なことと思います。情報処理学会も小、中学生を対象としてボランティアのイベントに協賛したり、ボランティアするなどは考えられないものではないでしょうか。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■カタカナ表記が多い。初めて見るカタカナは英語に直して推測している。日本が独自の技術を開発していた時代は「割り込み」とか分かりやすい用語が発明されたものだが、日中韓で通用する用語を検討してほしい。(匿名希望)

■今後読んでみたい記事として、UPの開発手法について、各手法の特徴や効果に関する特集を希望します。(匿名希望)

■コンピュータビジョンの現状を取り上げてほしい。(匿名希望)

■情報処理関連の独立行政法人の業務内容について紹介していただきたい。(匿名希望)

■今後の企画として、HPCの最新技術動向、情報検索技術、SaaSの技術基盤解説、ソフトウェア生産技術、テスト・品質管理技術、などを期待している。(匿名希望)

【本欄担当 大槻知史，大月美佳／書評・ニュース分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax:(03)3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4810.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IPSJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2007年				
	論文誌「ソフトウェア工学の効果と価値」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-J.html	10月18日(木)		
	会誌「情報処理」49巻表紙デザイン募集 http://www.ipsj.or.jp/07editj/topic/design-boshu.html	11月1日(木)		
	論文誌「産学連携論文」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-N.html	11月5日(月)		
	平成19年度フェロー候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/fellow/H19/index.html	11月5日(月)		
	論文誌「安心・安全な社会基盤を実現するコンピュータセキュリティ技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-M.html	11月30日(金)		
	論文誌「情報教育～理論・実践・効果～」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-Q.html	11月30日(金)		
	平成19年度情報処理学会業績賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/gyoseki/H19/h19boshu.html	12月7日(金)		
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-R.html	12月28日(金)		
10月18日(木)	北陸支部研究講演会「X線像を用いたコンピュータ診断支援について」 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html		参加無料	金沢大学自然科学系 図書館棟大会議室
10月18日(木)～	組込みシステムシンポジウム (ESS2007) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-ESS2007.html	7月2日(月)	事前割引は 10/10まで	日本科学未来館
10月20日(土)	連続セミナー2007「情報セキュリティ2.0」第4回 その後の個人情報保護 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
10月19日(金)	第68回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SLP68.html	8月25日(土)	当日のみ	早稲田大学理工学部
10月20日(土)	平成19年度電気・情報関連学会中国支部連合大会 http://rentai.huis.hiroshima-u.ac.jp/	8月10日(金)		広島大学 (東広島キャンパス)
10月23日(火)	東海支部主催講演会「医療情報システムと情報セキュリティ」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/		参加無料	愛知工業大学八草キャンパス (愛知県豊田市)
10月24日(水)	高度IT人材育成フォーラム -産官学の連携とその継続に必要なものは?- http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/kodo-it.html		10月22日(月) 定員になり次第	早稲田大学総合学術情報センター 井深記念大ホール
10月25日(木)～	第25回高品質インターネット研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/QAI25.html		当日のみ	福岡ソフトリサーチ パーク (SRP)
10月25日(木)～	第131回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SLDM131.html	8月17日(金)	当日のみ	会津東山温泉 くつろぎ宿
10月26日(金)	高校教科「情報」シンポジウム2007 -ジョーシン07- http://sigps.ttuat.ac.jp/joshin07.html		詳細はWebサイトで ご確認ください	早稲田大学 大久保キャンパス
10月27日(土)	International Workshop on Security (IWSEC2007) http://www.iwsec.org/	4月13日(金)		奈良県新公会堂
10月29日(月)～	第149回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ICS149.html	7月27日(金)	当日のみ	沖縄コンベンションセンター
10月31日(水)	マルチメディア通信と分散処理ワークショップ http://www.dpsws.org/2007/WS/	7月27日(金)	10月12日(金)	よしのや依緑園 (石川県加賀市)
10月31日(水)～	コンピュータセキュリティシンポジウム2007 (CSS2007) http://css2007.naist.jp/	8月27日(月)	10月12日(金) 早期割引9/21まで	奈良県新公会堂
11月2日(金)	第158回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SE158.html	10月1日(月)	当日のみ	明治大学 リバティタワー
11月5日(月)～	第102回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/IS102.html	9月3日(月)	当日のみ	岩手県立大学 アイーナキャンパス
11月6日(火)	第88回情報学基礎研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/FI88.html	9月7日(金)	当日のみ	筑波大学 春日キャンパス
11月8日(木)	グループウェアとネットワークサービスワークショップ2007 http://www.teu.ac.jp/i-lab/gnws2007/	9月21日(金)	11月1日(木)	ホテル磯部ガーデン (群馬県碓氷郡)
11月9日(金)～	第12回ゲームプログラミングワークショップ2007 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-GPW2007.html	7月30日(月)	定員になり次第	箱根セミナーハウス
11月11日(日)	第129回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CG129.html	8月31日(金)	当日のみ	和歌山大学 地域共同研究センター
11月12日(月)	連続セミナー2007「情報セキュリティ2.0」 第5回 バイオメトリックスの現状と今後 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
11月15日(木)	東海支部主催講演会「画像処理による物体追跡」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/		参加無料	愛知県立大学学術文化 交流センター小ホール
11月19日(月)	第23回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/EVA23.html	10月5日(金)	当日のみ	北陸先端科学技術 大学院大学
11月19日(月)～	第182回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/NL182.html	9月7日(金)	当日のみ	静岡大学
11月20日(火)	第132回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SLDM132.html	9月14日(金)	当日のみ	北九州国際会議場
11月22日(木)	第167回計算機アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ARC167.html	9月20日(木)	当日のみ	北九州国際会議場
11月20日(火)～	第43回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・第31回 高度交通システム・第18回放送コンピューティング研究グル ープ合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MBL43ITS31.html	9月21日(金)	当日のみ	京都大学学術情報 メディアセンター

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
11月22日(木)	デジタルドキュメント・シンポジウム2007 http://www.ipsj.or.jp/sig/dd/		11月14日(水)	日立製作所 大森第二別館
11月26日(月)	～分散システム/インターネット運用技術シンポジウム2007		8月31日(金)	学習院大学 学習院創立 百周年記念会館
11月27日(火)	http://dsm.ipsj.or.jp/h191126cfp			東洋大学川越 キャンパス
11月26日(月)	～第133回マルチメディア通信と分散処理研究発表会	9月26日(水)	当日のみ	東京(秋葉原)
11月27日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DPS133.html			
11月26日(月)	～2007 International Symposium on Ubiquitous Computing Systems (UCS2007)			
11月29日(木)	http://www.ht.sfc.keio.ac.jp/ucs2007/			
11月27日(火)	～コンピュータシステム・シンポジウム(ComSys2007)	7月17日(火)		東京ファッション タウン
11月28日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ComSys2007.html			
11月27日(火)	～データベースとWeb情報システムに関するシンポジウム (DBWeb2007)	9月18日(火)		東京大学 生産技術研究所
11月28日(水)	http://castor.kyoto-su.ac.jp/dbweb2007/			
11月30日(金)	第115回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/AL115.html	9月30日(日)	当日のみ	新潟大学
12月1日(土)	第38回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/EIP38.html	10月12日(金)	当日のみ	同志社大学 今出川キャンパス
12月5日(水)	～APSEC2007 14th Asia-Pacific Software Engineering Conference			名古屋
12月7日(金)	http://apsec2007.fuka.info.waseda.ac.jp/			
12月6日(木)	～第113回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会	10月5日(金)	当日のみ	筑波大学 計算科学研究 センター
12月7日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/HPC113.html			
12月7日(金)	～第92回コンピュータと教育研究発表会	10月12日(金)	当日のみ	那覇市IT創造館
12月8日(土)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CE92.html			
12月13日(木)	～人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2007」	9月14日(金)	定員になり次第 ※当日参加も可能	京都大学 京大会館
12月14日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-CH2007.html			
12月14日(金)	連続セミナー2007「情報セキュリティ2.0」 第6回 次世代暗号技術への移行に向けた課題と対応 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
12月14日(金)	第39回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CSEC39.html	10月12日(金)	当日のみ	東京理科大学森戸 記念会館
12月14日(金)	～第73回音楽情報科学研究発表会	10月10日(水)	当日のみ	多摩美術大学 八王子 キャンパス
12月15日(土)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MUS73.html			
2008年				
	平成19年度情報処理学会長尾真記念特別賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/nagao/H19/h19boshu.html	1月18日(金)		
	論文誌「音声ドキュメント処理」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/09-Y.html	5月30日(金)		
1月8日(火)	～第49回プログラミング・シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/prosym/			箱根ホテル小涌園
1月10日(木)				
1月18日(金)	短期集中セミナー2007「インターネット放送の現在と展望」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/shortseminar/2007/index.html		1月11日(金)	化学会館7Fホール
1月24日(木)	～第67回プログラミング研究発表会	11月21日(水)	当日のみ	東北大学電気通信 研究所
1月25日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/PRO67.html			
1月24日(木)	～第144回データベースシステム・第66回グループウェアと ネットワークサービス・第19回放送コンピューティング 研究グループ合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DBS144GN66.html	11月23日(金)	当日のみ	ホテル天坊(群馬県渋 川市伊香保町)
1月25日(金)				
1月29日(火)	ソフトウェアジャパン2008 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/forumindex.html			東京ステーションコン ファレンス
3月10日(月)	～ネットワーク生態学研究グループ 第4回シンポジウム		定員になり次第	京都産業大学
3月11日(火)	http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html			
3月13日(木)	～第70回全国大会			筑波大学
3月15日(土)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/70kai/index.html			
6月11日(水)	～The 4th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2008)			東京(秋葉原)
6月13日(金)	http://www.icmu.org/icmu2008/			
7月28日(月)	～SAINT2008 International Symposium on Applications and the Internet			フィンランド
8月1日(金)	http://www.saintconference.org/			
8月21日(木)	～4th International Conference on Collaboration Technologies			和歌山県
8月22日(金)	(CollabTech2008)			(アバロン紀の国)

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

【トピックス】

- 9月14日 人材募集情報(9月)更新しました
- 9月14日 第70回全国大会 講演申込受付を開始しました
- 9月14日 ソフトウェアジャパン2008 スポンサー・サポーター募集
- 8月27日 情報専門学科におけるカリキュラム標準 J07(中間報告)の完成と頒布のご案内

【学会からのお知らせ】

- 9月19日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました
- 9月7日 「組込みシステム工学」特集の論文募集
- 8月23日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円(税込)
賛助会員(企業) 31,500円(〃)
賛助会員以外の企業 52,500円(〃)
*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■福岡大学工学部電子情報工学科

募集人員 教授または准教授 1名
専門分野 組み込みシステム、システムLSI、ソフト・ハード協調設計、ユビキタス・コンピューティング、など
応募資格 博士(またはPh.D)の学位を有する方。専門分野で十分な研究実績を有する方。学部、大学院において、計算機科学、計算機工学分野(特に組み込みシステム分野)の教育と研究を担当できる方
着任時期 平成20年4月1日または9月1日(相談により決定)
提出書類 履歴書^{*}、研究業績リスト(1通:著書、学術論文、学会発表、その他、に分類して記載する)^{*}、教育業績リスト(1通)^{*}、職務実績書(1通)^{*}、主要論文(5編、A4判コピー可、最近のものを中心に)、教育と研究に対する抱負(それぞれA4判2000字程度)、連絡先(電話番号、E-mailアドレス)
 ※については、所定の書式とし、そのフォームと記入例に従い作成してください
応募締切 平成19年10月31日(必着)
送付先/照会先 〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈8-19-1 福岡大学工学部電子情報工学科 学科主任 首藤公昭
 E-mail:shudo@fukuoka-u.ac.jp Tel(092)871-6631 (ext.6382) Fax(092)865-6031 「応募書類在中」と朱書き簡易書留
その他 詳細および書式のダウンロードは電子情報工学科Webページ(<http://www.tl.fukuoka-u.ac.jp/>)をご参照ください
【選考方法】 提出された書類などにより1次選考を行います。また2次選考として面接(研究業績のプレゼンテーションを含む)を行う場合があります(なお、旅費などは自己負担となります)

■神奈川工科大学情報工学科

募集人員 助教(任期制) 1名
専門分野 情報システム
担当科目 C++言語、JAVA言語、情報工学実験など(予定)
応募資格 情報技術教育に熱意がある方。博士号取得済みまたは取得見込みであることが望ましい
着任時期 平成20年4月1日
提出書類 履歴書・教育研究業績リスト(本学所定の書式)^{*}、主要論文別刷(3編まで)、教育および研究に対する抱負(1000字程度)、推薦書(または所見を求め得る方の氏名と連絡先) なお、※の書式については、下記照会先へご連絡ください
応募締切 平成19年11月30日(必着)
送付先 〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030 神奈川工科大学庶務担当部長気付 情報工学科教員選考委員長
 「情報工学科教員応募」と朱書き書留 *提出書類は原則として返却いたしません
照会先 情報工学科 教授 田畑邦晃 E-mail:tabata@ic.kanagawa-it.ac.jp Tel(046)291-3245
その他 **【任期】** 5年(ただし、再雇用または期間の定めのない雇用への変更があり得る)

■富山大学大学院理工学研究所

募集人員	(a)教授 1名 (b)准教授または講師 1名
専門分野	(a)情報工学およびその関連分野 (b)情報工学と医学・生物学との学際分野
担当科目	情報工学の基礎科目および当該専門科目など、学部および大学院の講義のほか、教養教育科目の講義
応募資格	(a)情報関連分野で博士の学位を有すること (b)博士の学位を有すること 大学院博士課程における教育・研究指導が担当できること
着任時期	平成20年4月1日(予定)
提出書類	履歴書(学歴、職歴、連絡先にE-mailアドレスを記入)、研究業績リスト(次のように分類し年代の新しい順に番号をつける：(1)学術論文(査読付き)、(2)国際会議発表論文(査読付き)、(3)著書、(4)その他の論文、(5)特許、(6)外部教育研究資金(科学研究費補助金、共同研究・受託研究、研究助成金など)の獲得状況(代表と分担を明記)、(6)受賞歴、(7)学協会および社会における活動状況、(1)～(5)については共著者をすべて記入のこと)、主要論文別刷(5編程度、コピー可)、これまでの研究の概要、今後の研究計画ならびに教育に対する抱負(A4用紙2～3枚程度)、当方より応募者についてご意見を伺える方2名のお名前とご連絡先
応募締切	平成19年11月30日(必着)
送付先/照会先	〒930-8555 富山県富山市五福3190 富山大学工学部知能情報工学科 学科長 堀田裕弘 E-mail:horita@eng.u-toyama.ac.jp Tel/Fax(076)445-6758 「教員(教授)応募書類」または「教員(准教授および講師)応募書類」と朱書き(簡易)書留 *お問い合わせにはできるだけ、E-mailをお使いください。提出書類の返却はいたしません
その他	必ずWebページ(http://www.u-toyama.ac.jp/jp/employ/index.html)を参照ください

■名古屋大学大学院情報科学研究科附属組込みシステム研究センター

募集職種	研究員(任期付き正職員。ただし、本人の実績や能力により、特任教授、特任准教授、特任講師、特任助教とする場合がある)
募集人員	若干名
職務内容	車載ソフトウェアならびに設計技術に関する研究開発(車載システムやITSでの応用を想定した、LAN/通信、分散処理、高信頼設計[方式、設計実装、形式手法]などの研究開発)
応募資格	職務内容に関する研究または先行開発実績を有するか、もしくは研究開発課題に対する高い実務能力と熱意を有すること。関係研究分野での博士または修士の学位を有することが望ましい
着任時期	決定後できるだけ早い時期
提出書類	履歴書(上半身写真、自筆署名のこと)、研究開発実績リスト(研究論文、開発実績、特許など)、応募した動機と抱負
応募締切	平成19年11月30日(ただし、応募順に選考し、募集数に達し次第、募集を終了します)
照会先	附属組込みシステム研究センター センター長 高田広章 E-mail:hiro@ertl.jp
その他	【応募方法】Webページ(http://www.nces.is.nagoya-u.ac.jp/recruit/)を参照のこと 任期あり。ただし、本人の成果と研究プロジェクトの状況により任期延長あり

会誌「情報処理」49巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

- 応募条件
- ・表紙のデザイン（裏表紙，背表紙は含まず）。
 - ・A4判（天地 297mm × 左右 210mm）4色フルカラー。
 - ・描画手法は問いません。
 - ・「情報処理」の題字，巻号，法定文字，記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
 - ・応募資格は問いません。
 - ・詳細は会誌編集部門までお問い合わせください。

- 注意事項
- ・応募作品は返却いたしません。
 - ・採用作品の掲載にあたって，学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
 - ・採用作品の著作権（著作権法第27条，第28条の権利を含む）は（社）情報処理学会に帰属します。
 - ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について，第三者との間に紛争が生じた場合は，作者がその責を負う）。
 - ・応募される場合は，上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 平成19年11月1日（木）（必着）

結果通知 平成19年12月下旬

賞金 採用者1名に5万円

送付先／照会先 （社）情報処理学会 会誌編集部門
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375

会 員 各 位

過去に発行された当会会員名簿は「会員相互間の連絡や情報交換」を目的としています。

最近この目的をはずれ、「広告，諸勧誘，商取引等の営利活動に不正に利用される」方がおられますが，このような行為は厳重に謹んでください。名簿を廃却される場合にも，再利用されることのないようご注意願います。

また，上記不正利用にあてはまらない場合でも，受け取った相手が不愉快な思いをさせないよう，節度を持った利用をお願いいたします。

当会では，現在会員名簿を発行しておりません。

ご意見をお寄せください!

【11月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)

<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4810.html> Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp

(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
<http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか? : (a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
10. 今月号 (2007年10月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]

特集：次世代統合シミュレーション技術

1. 粒子法によるマルチフィジクスシミュレータ 10-1-
2. 医療・創薬のためのマルチスケール・マルチフィジクス心臓シミュレータ 10-2-
3. 放射線治療の高度化のための超並列シミュレーションシステム 10-3-
4. システムバイオロジーのためのモデリング・シミュレーション環境 10-4-
5. 数値/数式ハイブリッド計算に基づくロバスト最適化プラットフォーム 10-5-
6. 数値シミュレーションを支える精度保証技術 10-6-

小特集：ブロードバンド時代に臨む MPEG 標準化動向とコンテンツ管理技術

1. コンテンツ利用の進化と MPEG 標準化 10-7-
2. MPEG-21, MPEG-A の概要とその目的 10-8-
3. MPEG-21 権利記述言語 10-9-
4. 「許諾コード」方式 10-10-
5. 光ディスク著作権保護標準化から見た MPEG-21 10-11-

仮想マシン道しるべ：VM (Virtual Machine：仮想マシン：仮想計算機) のその後の発展と現状 10-12-

これからの情報処理学会：ものいふ学会へ 10-13-

これからの情報処理学会：創立 50 周年に向けて 10-14-

これからの情報処理学会：連載を終えて 10-15-

研究会千夜一夜：プログラミング研究会 10-16-

研究会千夜一夜：アルゴリズム研究会 10-17-

標準化よもやま話：ISO/IEC JTC 1/SC 36/WG 2 協調学習環境の技術標準化 10-18-

11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。

12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

シミュレーション技術は情報処理技術の応用という点からも重要なさまざまな研究の可能性があります。今回の特集では、専門家だけでなく広く一般の読者にも理解できるような解説記事を各執筆者に書いていただきました。最新の研究成果などに触れることで読者の皆様の刺激になれば幸いです。

実は「次世代統合シミュレーション技術」特集は、昨年度の担当エディタから引き継いだ、私にとって最初の仕事です。編集委員一年生であるためなかなか勝手も分からず、また原稿締切のスケジュー

ールを勘違いしてしまったりといろいろありましたが、幸いなことに当初の企画から予定していた特集記事すべてが掲載される運びとなりました。特に、情報処理学会誌編集部門の後路様、科学技術振興機構（JST）シミュレーション技術研究事務所の佐藤様には、著者との連絡や原稿のやりとり等において多大な協力をいただきました。この場をかりてお礼を述べたいと思います。

（松崎公紀／本特集エディタ）

このコーナーでは特集の企画時の苦労などを書きたいのですが、本特集では各執筆者の方がとても協力的で、ほとんど打ち合わせもせず苦勞なく完成してしまいました。そこで唯一少し手がかかった「権利記述言語」について書かれた3番目の記事の翻訳掲載について書いておきましょう。この記事はこの分野の第一人者のXin氏に1年前のMPEG会議のころからお願いしておりました。IEEE Multimediaの記事がうってつけなので、当初これとほぼ同じ内容で書いてもらうことになっていました。しかし原著者に書いてもらうとはいえほぼ同じ内容です。DRMの解説記事に盗用の疑いがかかっていたは洒落になりませんので、やはりXin氏にIEEEから了解を得てもらうことにしました。ところがIEEEからの返事もけっこう時間がかかり、ぎりぎりになって届いた返信にはかなり高額の使用料が必要

と書かれていました。あわてて編集部にご相談したところ、協定によりIEEE-CSの記事はIPJSJの会誌に無料で掲載できることが分かり、これをIEEEの担当者も了承して、一件着落となりました。

さて「情報処理」ではACM学会誌からの翻訳記事はたまに見ますが、IEEE-CSからの記事は減多にないようです。マルチメディアや組み込み系ではIEEEに読み応えのある記事も多く、もっと取り上げてよいかと思います。注目記事が日本語で読めれば、読者のメリットも大きいでしょうし、せっかくの権利でするので利用しなければ損かと思えます。これを機会に、翻訳掲載してほしい記事を選んでみようかと思いました。

（金子格／本小特集ゲストエディタ）

次号（11月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

変わりつつある情報教育

初等中等教育における情報教育／小学校における教育実践事例／中学校における教育実践事例／高等学校における教育実践事例／高等学校必履修科目としての「情報」～普通教科「情報」はどのような経緯で作られたのか～／海外の情報教育の動向／大学での情報入試／新しい大学情報教育カリキュラム J2007

解説

HD DVDの技術 大澤英昭 他
 Trusted Network Connect — TPMの利用管理技術の動向 吉濱佐知子 他
 欧米におけるHCI教育の動向 中野有紀子 他
 チェッカー解明秘話 岸本章宏
 トップエスイー：サイエンスによる知的ものづくり教育 本位田真一 他
 ベタスケール時代に向けたハイパフォーマンスコンピュータアーキテクチャ 中川八穂子

報告

Cellスピードチャレンジ2007 柘植宗範 他

連載 仮想マシン道しるべ

コラム 研究会千夜一夜／標準化よもやま話

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。権利委託先:(中法)学術著作権協会
 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
 E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619
 なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
 Copyright Clearance Center, Inc.
 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
 Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
 6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
 E-mail: info@jaacc.jp
 Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.
 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
 Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

掲載広告カタログ・資料請求用紙

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 社団法人情報処理学会
 発行部数 30,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 (株)精機通信社 (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*左記料金はポジフィルム納入による料金です。
 *版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *断切広告は上記料金の10%増です。ただし、表4は不可。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）(株)精機通信社宛にご請求ください。

■「情報処理」 48巻10号 掲載広告（五十音順）

- | | | | |
|---------------------------------------|------|--|-------|
| <input type="checkbox"/> アスキー…………… | 目次前 | <input type="checkbox"/> 科学技術振興機構…………… | 前付最終上 |
| <input type="checkbox"/> インタフェース…………… | 表2対向 | <input type="checkbox"/> サイエンス社…………… | 前付4,5 |
| <input type="checkbox"/> NEC…………… | 表4 | <input type="checkbox"/> 情報通信研究機構…………… | 前付最終下 |
| <input type="checkbox"/> オーム社…………… | 前付3 | <input type="checkbox"/> 培風館…………… | 前付2上 |

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ お名前	_____		
勤務先	_____ 所属部署		
所在地	(〒 _____)	_____	
	TEL (_____)	-	FAX (_____)
ご専門の分野	_____		



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 (株) 精機通信社

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20～50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

●●● 賛助会員 (10～19口)



株式会社NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)



NTTコムウェア
NTTコムウェア (株)



(株) NTT ドコモ



日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3～9口)

OKI

沖電気工業 (株)

Panasonic
ideas for life

松下電器産業 (株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約100名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375